

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 「微生物輸送培地・容器」変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、微生物学検査で使用する尿等の液状検体をご提出いただく際、現行の指定容器(滅菌スピッツ管[容器番号:27番])に加えて、透明な滅菌スピッツ管(クリア)[容器番号:26番]を準備いたしましたのでご案内いたします。

弊社では微生物学検査の精度向上を目的に自動化機器を採用しております。自動化機器では指定容器以外では自動化機器に懸架できませんので、尿検体等をご提出する際は、いずれかの容器でご提出いただきますようお願い申し上げます。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 変更内容

##### ● 微生物学検査用容器の変更

容器	新	旧
尿検体等 滅菌搬送容器*1,2	[27番] 滅菌スピッツ管 もしくは [26番] 滅菌スピッツ管(クリア)*2	[27番] 滅菌スピッツ管 もしくは その他滅菌試験管
細菌検査用スワブ*1	[39番] 細菌検査用eスワブ(一般細菌用)	[39番] 細菌検査用スワブ(一般細菌用)*1
	[40番] 細菌検査用eスワブ(耳鼻咽喉頭用)	[40番] 細菌検査用スワブ(耳鼻咽喉頭用)

\*1: 指定容器以外の滅菌試験管および現行の細菌検査用スワブでの検体受付は、3月30日(土)をもって中止とさせていただきます。

\*2: 検体の状態を目視確認する必要がある場合にはこちらをご使用ください。

※今回変更になる容器は微生物学検査の容器で、一般臨床検査や内分科学研究等の尿容器の変更はございません。従来どおり、[25番]尿一般容器をご利用ください。

#### 変更期日

● 2024年1月4日(木)以降、順次切替えさせていただきます。



# 微生物学検査用容器の変更

## (新) 滅菌容器



容器番号	26番
容器名称	滅菌スピッツ管(クリア)
容量	10mL
添加剤	—
保管方法および有効期間	常温 —
備考	検体の状態を目視確認する必要がある場合は、本容器をご利用ください。 なお、淋菌・トリコモナスを目的菌とした場合など、強い遠心作業が必要な場合は破損の可能性があるため、[27番] 滅菌スピッツ管をご利用ください。 主な該当検査項目は下記一覧をご確認ください。

## (新) 細菌検査用スワブ



容器番号	39番	40番
容器名称	細菌検査用eスワブ (一般細菌用)	細菌検査用eスワブ (耳鼻咽喉頭用)
採取量	—	—
培地	アミーズ培地	アミーズ培地
保管方法および有効期間	常温 容器に表示	常温 容器に表示
備考	キャップの色：ピンク	キャップの色：オレンジ
	主な該当検査項目は下記一覧をご確認ください。	

### ● 該当検査項目\*

	項目コード	検査項目名
一般細菌・真菌検査	04910	塗抹鏡検
	04466	培養・同定(口腔・気道・呼吸器、泌尿器・生殖器、穿刺液およびその他の部位)
	04920	嫌気性培養
一般細菌検査	04215	感受性検査
真菌検査	35012	酵母様真菌感受性検査
MRSA検査	35026	MRSAスクリーニング
特殊目的菌検査		百日咳菌、レジオネラ、アスペルギルス、ノカルジア、アクチノミセス、淋菌、トリコモナス、ガードネレラ

\* 上記検査項目のうち、糞便等の材料に関して容器変更はございません。

滅菌スピッツ管、滅菌試験管および細菌検査用スワブで搬送する検体種に関しては総合検査案内の『主な微生物輸送培地・容器(234頁)』をご確認ください。